

優秀賞

「ひまわりのおか」を読んで

荒川区立汐入東小学校五年

王 友佳

柳田邦男先生こんにちは。

先生は、「命」や「愛情」について考えたことがありますか？私は、「ひまわりのおか」という本を読んで「命」や「愛情」について深く考えました。

これから先生に、私が考えたことをお伝えします。

「ひまわりのおか」という本は、東日本大震災で子どもたちをなくしたお母さんたちが、小学校のそばに、たくさんひまわりを植える話です。

東日本大震災は、津波でたくさん子どもたちのかけがえのない命をうばいました。私は、今まで生きるということはごくふつうのことだと思っ

ていました。しかし、いつ来るかわからない津波で、突然命をうばわれた子どももいるということ。この本で知りました。命があれば生きられ、つらいこともあるけれど、うれしいことや楽しいこともたくさんあり、生きていくだけで毎日がとても幸せに感じると思います。私は、生きていくということはとても幸せなこと、すばらしいことだということ。この本から学びました。そしてこれからは、生きていくことに感謝して、毎日を大切にしていきたいと思いました。

東日本大震災で子どもたちをなくしたお母さんたちは、とても悲しみました。そして、なくなつた子どもたちに手紙を書きました。私は、このよくなお母さんたちの姿から、お母さんのわが子への愛情を感じました。私は、自分はお母さんの愛

情を受けて、毎日をすごしているということを知ること
の本を通じて知ることができました。これから、
自分を大切にしていって、愛してくれているお母さんに
感謝していききたいと思いました。

私のここまでの考えを見て、先生はどう思いま
したか？私は、自分はとてもめぐまれているとい
うことに気づき、そのことに感謝しながら生きて
いきたいと思いました。